

元高砂市議 緑の党グリーンズジャパン会員



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

井奥まさきの市政ニュース

2014. 2-3 (月刊+:2月・3月号 通算79号)

「井奥まさき」
でweb検索を

登市長が誰でも参加できる「市長と語る会」を中止し、市民参加を後退させています。今こそ議会が独自に市民参加を広げる活動をすべきです。

世界90カ国にある緑の党について知りたい方は井奥まさきのウェブまで。説明動画あり。5月9日(金)をはじめ、毎月9日にグリーンカフェも企画中。

議会改革 市民のための議会改革という視点こそ必要です！

傍聴者の発言、無作為抽出で参考人…先進的方向を提案します

元高砂市議 井奥まさき

先進性ある市民参加の徹底を

そこで②とも関連しますが、今までの弱点を改め、高砂市議会が全国先進市となるべき先進的方向を打ち出すべきでした。例えば、市議会に参加した市民が発言できるようにする。重要な課題については無作為抽出によって参考人を選んで意見を聞くといった手法です。せめて今後、基本条例の実行の段階では私が提案するような内容の導入を考えるべきです。また、他市議会では常識ですが、議案の採決結果の公表や議長交際費や政治活動費のネット公開、ネット委員会中継など情報公開や提供にももっと力を入れるべきです。

議会基本条例の議論の不足点

高砂市議会は3月議会で議会基本条例を制定するとのこと。1月にパブリックコメントが募集されていましたが、元議員なので、あえて私は意見提出をしませんでした。このニュースの中で公開で指摘と提案を書くことにします。

今回の議会基本条例で不足していると感じたのは①市民のための議会改革であるという視点②他市にも先駆けた先進性③公聴会未実施など議論の手法の3点です。

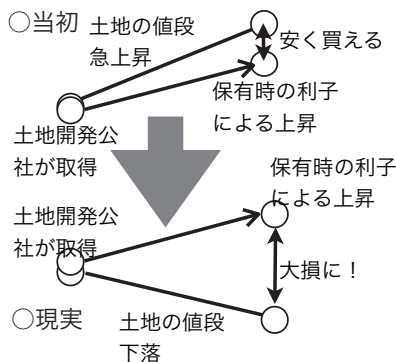
議員ありきの高砂市議会の先進性

特に①は重要です。これは私の反省も込めてです。私は高砂市は「日本一の議会」だと自負してい

ました。徹底した質疑や民主的な運営は全国雑誌に取り上げられるほどであり、先輩議員たちからの遺産です。しかし、振り返ってみると高砂市議会の先進性は「議員ありき」の先進性であり、「市民参加」の部分が弱かったことは反省すべき点といえます。

「会議に時間がかかりすぎる」「光熱水費のムダ」といった批判が市民から出てきたのも、議会の議論が「市民が判断するための議論」という視点が弱かったためといえます。今回の条例について③の公聴会未実施などを見ると、市民参加への視点が相変わらず弱いことを改めて示しています。

債権放棄 誰も責任を取らない土地開発公社 30億円の損失



3月議会で市議会は土地開発公社への30億円の債権を放棄を検討という新聞報道がされました。年200億円前後の高砂市の基本的な収入(税込、+地方交付税交付金など)の1割以上の額です。

土地開発公社は左図のように土地値上がりのバブル時代に導入さ

れた制度です。少しでも安く土地を買うという本来の目的は達せず、巨額の赤字を抱えてしまいました。先送りした結果、これだけの大赤字を出しながら誰も責任を取りません。登市長や議会は誰でも参加できる市内説明会などで説明責任を果たすべきです。

緑の党

YESの政策と幅広い集まりで成長したドイツ緑の党

ドイツ経済研究者 朴勝俊さん(関西学院大学准教授)のお話より

緑の党はオーストラリア生まれですが、ドイツで大きく花開きました。当初は「反政党的的政党」として設立され、「夢見がちな政党」「彼らの問いは正しいが、答えは間違っている」と評されていた政党だったそうです。その後、「反〇〇」だけでないYESの政策

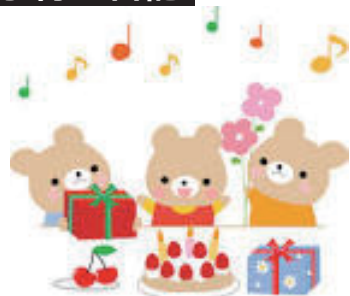
を積み重ね、党を器として多様な潮流を集めることで成長していったそうです。YESの政策の代表例は「エコロジー市場経済」「環境税制」で環境と経済・雇用をともに両立させる現実政策です。幅広さも苦難の歴史から生み出されたとのこと。保守系の元国会議員か

らシュタイナー学派、毛沢東主義者まで抱えた初期の総会は荒れまくり、「反〇〇」が行き過ぎて反ドイツ統一のスローガンで惨敗。その時に東ドイツの非共産党系市民グループと融合し、再出発して現在の躍進の基礎を作ったとか。日本の緑の党も見習わねば。

●毎回、緑の党の政策や緑の党について紹介します。

■現状の教育委員会は改革しなければいけません。安倍政権や大阪・橋下氏のトップダウン型教育委員会改革は方向性が違います。市民主体の教育委員会改革でないとい

子育て日記



1カ月前から楽しみで楽しみで

2月生まれの6歳の息子がついに7歳になりました。1カ月前からすでに誕生日が来るのを楽しみにしていました。「誕生日のプレゼントは?」「どこに食べに行く?」としつこく聞きまくるので、

子ども時代は誕生日って楽しみだね

妻と二人で「いい子にしか誕生日は来ないよ」と叱る始末です。

誕生日の月には学校や学童でもいろいろお祝いをしてもらって大満足。そして、いざ誕生日が来ると「今日はケーキがあるよね。」「ケーキにはローソクを」と注文がうるさいこと。さらに「今日は誕生日だからいいじゃない」などとさぼりもエスカレート。誕生日を満喫していました。やれやれ。
一人一人特別な素晴らしい未来を
子どもの誕生日は「親になった

記念日」でもあります。大人になって楽しみでなくなった自分の誕生日より輝いています。7歳の息子、9歳の娘が成長するのはあつという間でした。これから成人までもすぐでしょうか。私は毎年1月の成人式で会場前の街頭宣伝を行っています。16年目の今年は「皆さんには一人一人特別な素晴らしい未来が待っている、その未来をよりよくするための政治と一緒に作ろう」と呼びかけました。大人たちの責任は大きいですね。

教育委員会 教育委員会の独自性を活かす市民推薦制度の実現を

学校の先生を監督し、教育方針を決めるのは教育委員会です。公民館や図書館といった教育施設の運営も担当します。市長とは独立して政治的中立の立場で活動する存在となっています。

昔は教育委員は選挙で選んでいました。(例えば、初代は加古喜市さんら)その後、市長が提案し、議会が同意する方法となりました

が、議会で教育理念などを確かめる場などはないまま選出しています。東京都中野区では市民推薦制度を取り入れています。首長が選ぶ人材を市民が自薦・他薦しようというものです。書類提出や演説会などもあり、幅広い人材発掘となります。高砂市も検討すべきです。他にも現行の選出のままでも、教育委員の公募、教育委員会の会

議の公開や議事録の迅速な公開などの先進施策があります。

廃止論までである教育委員会ですが、合議制の執行部として、たった一人の市長よりも構成人数の多い分、多様な市民を代表して活動できるはず。いじめ問題、学校の荒れなど教育をめぐる課題が重要になる中でより先進的な選出方法と運営が必要です。

市民病院 医師不足などで再び巨大赤字の大ピンチ！市民公開の議論の場を

	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算 (見込み)
医業収益	51 億円	47 億円
主な市税投入	9 億 7000 万円	6 億 7000 万円
医業費用	55 億円	55 億円
経常収支	△ 2 億円	△ 4 億 9000 万円

平成 26 年度 3 月議会補正予算参考資料より 端数は切り捨て (経常収支は医業収益や医業費用の他にも負債や資本の状況なども計算)

安倍自民政権下で「人からコンクリート」「業界団体優遇」と古い体質が復活しています。公立病院はまたもや冬の時代を迎えそうです。高砂市民病院は大野新院長のもとで奇跡の復活。しかし、医師不足と診療報酬見直しのダブルパンチで今後は苦戦が予想されます。特に7対1看護を見直そうとする動きは深刻です。今こそ登市長は市民公開で病院のあり方について議論する場を設置すべきです。

◎この
ニュース
作成者
井奥まさき
はこんな人

□井奥まさきプロフィール 1965 年生まれ。48 才。伊保小学校から淳心学院中・高校をへて岡山大学法学部へ。国際交流団体ピースボートや国会議員秘書などをへて、高砂市議 3 期 11 年間。国政選挙関係の文書違反事件で自主的に辞職。その後、4 年間市民活動として「つなげよう高砂」発行などを行う。全国的には「緑の党グリーンズジャパン」の設立に関わる。他に「自治体議員政策情報センター」の事務局、東京都・兵庫県議会の政務調査スタッフ。好きな言葉は「議論と熟議」「小欲知足」。家族は妻と子ども二人。荒井町新浜在住。

■広告 家庭教師 079-442-3438 河田寛人 早稲田政経卒業 英・数・国/中学生は全科目
1h = 2千円~3千円 朝6時~夜10時 自宅以外も可

■病院維持には巨大な「繰り入れ金」が必要。市民が「他を我慢しても」と公立維持の覚悟を決めるのか、病院機能だけを保全する手段を選ぶのか 全市的議論が必要です